

米国環境保護庁  
ワシントン、D.C.20460

大気放射局

2016年3月2日

ENERGY STAR コンピュータパートナー、CB、ラボ関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR コンピュータ仕様書 6.1 において、マイクロソフトウィンドウズ OS 以外の構成(configuration)に対する認証に関する質問を受けた。この回答で、EPA と米国エネルギー省(DOE)は共同でワークステーションコンピュータに対する測定手順を明確化した。

ワークステーションに関する ENERGY STAR 試験方法では、windowsOS 以外の構成の認証を明確には考慮していない。特にワークステーションの最大消費電力試験を完了するには構成に十分ストレスをかけなければならない。その構成には 2 つの産業界のベンチマーク LINPAC と SPECViewperf とを同時に適用する必要がある。SPEC は Linux のような代替 OS を適用できる SPEC viewperf 改訂版をサポートしていない。EPA は、ワークステーション製造事業者が windowsOS を用いた試験で認定しても良いとし、広範囲に ENERGY STAR に適合させることができるようにした。windowsOS を用いたシステムの省エネルギー性能は、Linux もしくは他の代替 OS を用いたシステムのそれに極めて近いことを EPA は理解している。

EPA は本レター及び ENERGY STAR 試験方法の最新版で、即座に対応可能な製造事業者は windowsOS 以外の構成を認証しても良いことを明確にした。windows によるベンチマークの結果は、代替 OS を用いたコンピュータを認証する目的に適合していると考えられる。ENERGY STAR 認証済みのワークステーションにどの OS を搭載して出荷しようとも、その消費電力管理特性は EO 13423 を順守していなければならない。

この明確化についての質問は、小職([Hanson.Steven@epa.gov](mailto:Hanson.Steven@epa.gov) : 202-343- 9836), John Clinger ([John.Clinger@icfi.com](mailto:John.Clinger@icfi.com) : 215-967-9407), 又は Jeremy Dommu ([Jeremy.Dommu@ee.doe.gov](mailto:Jeremy.Dommu@ee.doe.gov) : 202-586-9870) に直接問合わせること。他のコンピュータ関連の質問については、[computers@energystar.gov](mailto:computers@energystar.gov) に連絡すること。

ENERGY STAR の支援継続に感謝する。

Steven Hanson

ENERGY STAR データセンター製品、マネジャ